

連載「画像からくり」より 新宿東口の3D猫と渋谷の秋田犬

～だまし絵とLED表示技術～

日本写真学会「写真好き」のための定例講演会第43回は、オンラインの講演会として行った。内容は学会誌の口絵連載「画像からくり」を基に、講演を行った。申込者は講演者、事務局を含め12名であった。以下、概要を報告する。

2022年10月18日 日本写真学会広報委員会

■開催日時・次第

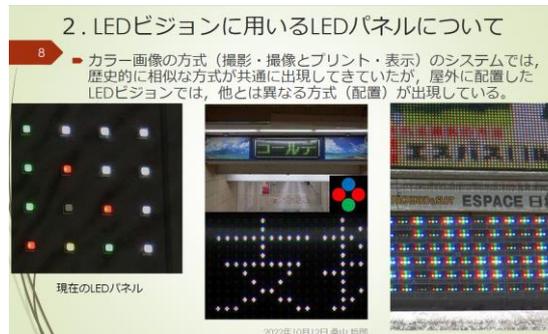
2022年10月12日(水) 16:50～接続テスト 17:00～17:50 講演 17:50 記念写真 以後質疑応答
Zoomを用いてオンライン開催。YouTubeで公開中の動画を提示資料として使用。

・内容

連載「画像からくり」の第56回「アナモルフォーズによる3D映像がビルの屋上に出現」日本写真学会誌第85巻1号(2022年2月)を契機に、7月29日から始まった渋谷駅周辺の8面の連携による表示「渋谷の3D秋田犬」の紹介も加え、技術とコンテンツの動向を紹介した。

以下は、講演の項目である。1. はじめに 2. LEDビジョンによる3D動画表示 3. 台形アナモルフォーズについて 4. LEDビジョンに用いられるLEDパネルについて 5. LEDビジョン発展の経緯(年代順) [1] LEDビジョンの連携 [2]アナモルフォーズを用いた3D表示 [3]新宿西口の3D巨大猫とその後 [4]LEDビジョンが立体的に見える理由 5. 屋外表示のLEDパネルについて 6. いろいろなLEDビジョン紹介 7. まとめとして

講演に使用したパワーポイントの様子が分かるファイルは公開中³⁾で、講演イメージは以下である。



講演終了後、記念写真を撮影し質疑応答を行った。講演者が接続している回線の帯域制限のため動画がコマ落ちになることと、講演途中に回線の接続不良で中断があったが、無事講演会は終了した。講演で使用した動画のURLアドレスを事後配布したので、講演中には十分見分けることができなかった内容も参加者は見直しができたと思われる。(桑山) 以下、参考資料である。



↑ 記念写真

- 1) 桑山哲郎, 連載「画像からくり」第56回「アナモルフォーズによる3D映像がビルの屋上に出現」, 日本写真学会誌 第85巻, 1 (2022) [リンク](#)
- 2) 田谷修一郎, 「新宿東口の猫」はなぜ立体的に見えるのか?, VISION, Vol.34, No.3, 84-87 (2022) [リンク](#)
- 3) 第43回「写真好き」のための定例講演会: パワーポイント再現資料 [リンク](#)
- 4) 桑山哲郎, 連載「画像からくり」第45回「駅で出会う錯視」, 日本写真学会誌 第82巻, 79 (2019) [リンク](#)